

## 分科会開催報告書

報告日 令和 5年 1月 31日 (火)	報告者 長島和子
分科会名 浮雲俳句会	開催テーマ 第167回浮雲俳句会
開催日時 令和5年1月29日(日) 午前10時～12時	開催場所 いきいきセンター 晴嵐かなざわ
参加人数 浮雲俳句会会員 男9名 女4名 合計13名 欠席者1名	

### 実施内容

第167回例会は兼題「生」を入れた1句、当季雑詠3句、合計4句。  
 句会は太田重九会員による選句の披講後、会員各々が選んだ特選句の選評。  
 月当番による合評後、意見、質問、添削等、活発な意見交換がなされた。  
 全会員により、特選句7句を選ぶ。  
 最後に太田代表より、固有名詞の使い方について話があった。

### 特選句

浜どんど達磨を舐める火炎(ほむら)かな	重 九
仕舞湯の曇る窓にも雪明り	二 祥
淡々とありのまま生き春を待つ	一 柧
裸木の言ふ生きるとは耐えること	十 九
晩学の書を繙くや冬木の芽	二 祥
寒晴やむさし野走る送電線	二 祥
よちよちと笑顔のくるよ四温晴	真 青

### 次回の予定

令和5年2月26日(日) 午前10時～12時  
 「第168回例会」は、いきいきセンター晴嵐かなざわ  
 兼題「和」を入れた1句、他に当季雑詠3句、合計4句。  
 披講 大谷二祥会員